

細川

オルガンリサイタル

久恵

Hisae Hosokawa Organ Recital

出演

オルガン：細川 久恵

Organ : Hisae Hosokawa

書パフォーマンス：矢部 澄翔

Calligraphy performance : Chosho Yabe



澄翔

Program

Echo Fantasia no.11 Jan Pieterszoon Sweelinck

エコーファンタジア J.P. スーリンク (1562~1621)

Toccat, Adagio und Fuge BWV564 Johann Sebastian Bach

トッカータ、アダージョとフーガハ長調 J.S. バッハ (1685~1750)

Improvisation sur "Te Deum" Charles Tournemire 他

「テ・デウム」による即興 C. トゥルヌミール (1870~1939)

2021 6月26日 土 15:00開演(開場14:30) 神奈川県民ホール 小ホール
June 26 Sat. 15:00 Kanagawa Kenmin Hall Small hall

主催/ **光風音** <http://org-proj.jimdofree.com>

共催/神奈川県民ホール [指定管理者 公益財団法人 神奈川芸術文化財団]

後援/公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団、読売新聞横浜支局、tvk

協力/よこはま市民メセナ協会

beyond
2020

神奈川県民ホール
Kanagawa Kenmin Hall

音景

響き合うかたち

オルガンと書の幻境

ONKEY ~ When Organ meets Calligraphy ~

細川久恵

Hisae Hosokawa Organ Recital オルガンリサイタル

リサイタルによせて

Message

音楽の原風景

10世紀頃のヨーロッパで、キリスト教修道会を中心に広まった、ロマネスクと呼ばれる石造りの建築様式があります。石に囲まれた空間は、小さな窓から射しこむ光や、堂内の灯によって、神秘的な光と影の造形を生み出します。そしてそこに響く単声の緩やかな祈りの歌は、自然・宇宙の秩序に呼応して、すべてを調和に導きます。その後、音楽は多様な発展を遂げその可能性を広げていきましたが、時代を越えてなお私たちの心を打ち、また癒す作品は、常に根底でこの単純性と統一性に繋がっているのではないのでしょうか。

音とカタチ

紙と墨をもって自らの身体と精神が世界と向き合う「書」は、また瞑想の行為ともいえます。書家は、静かに流れる時の中で、紙と筆が触れ合う音を聞いています。その動きは、世界と自己の一致を目指す根源的な願望に突き動かされているようです。音とカタチの交差は、互いの輪郭を開放し、響き合い、すべての色彩を内包する「光と影」の世界へと導くでしょう。「細川久恵 オルガンリサイタル 2020」は、響きと光の原点へと旅をします。

オルガン写真: (c) Hiroshi Togo

Profile



オルガン
細川久恵
Organ
Hisae Hosokawa

東京藝術大学オルガン科、同大学院修了。パリ、スコラカントルム音楽院、及びオルセー音楽院にてオルガン及びオルガン即興演奏を学び、プルミエ・プリを得て修了。オルガンを秋元道雄、島田麗子、松平郁子、M.シャビュイ、A.イゾール各氏に、ピアノを石澤秀子氏に師事。独奏、オーケストラ、合唱との共演多数。NHK・FM出演。2001年、新オルガンプロジェクト「光・風・音」を立ち上げ、美術とのコラボレーションによるリサイタル・シリーズを開始。2005年リサイタルが平成17年度（第60回記念）文化庁芸術祭参加。2008年ハーモニーホールふくい5周年記念事業でオルガンと映像によるリサイタルを展開、好評を博す。2012年リサイタルで、トマ・デュシャトレ氏振付のコンテンポラリー・ダンスと共演、横浜フランス月間2012に参加。2016年リサイタルで、能の舞と共演。国内、ヨーロッパで演奏活動を行っている。

【一社】日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

ONKEY ~ When Organ meets Calligraphy ~

音景 — 響き合うカタチ —

オルガンと書の幻境

Program

<第1部>

エコー ファンタジア J.P.スーリック(1562-1621)
Echo Fantasia no.11 Jan Pieterszoon Sweelinck

主よわが祈りを聞きたまえ G.ガブリエーリ(1553-56頃-1612)
Exaudi Domine Giovanni Gabrieli

トッカータ 第3番 G.ムッフアト(1653-1704)
Tocatta Tertia Georg Muffat

カンティレーナ「3つの小品」より G.ピエルネ(1863-1937)
Cantilène - 3 pièces Op.29- Gabriel Pierné

伝説 I 鳥に説教するアッシジの聖フランチェスコ F.リスト(1811-86)
Légende I St.François d'Assise "La prédication aux oiseaux" Franz Liszt

ロマネスクのスケッチ 第3番 J.ラングレ(1907-91)
Esquisse Romane no.3 Jean Langlais

<第2部>

トッカータ、アダージョとフーガハ長調 J.S.バッハ(1685-1750)
Tocatta, Adagio und Fuge BWV564 Johann Sebastian Bach

サルヴェ・レジーナ「オルガン交響曲・第2番」より C.M.ヴィドール(1844-1937)
Salve Regina - Symphony no.2 Op.13 - Charles-Marie Widor

テ・デウム P.アテニャン(1494頃-1551又は52)
Te Deum Laudamus Pierre Attaignant

「テ・デウム」による即興 C.トゥルヌミール(1870-1939)
Improvisation sur "Te Deum" Charles Tournemire

Tickets

¥3,000 (全自由席) 2021年4月26日(月)チケット発売開始

チケット
かながわ

TEL 0570-015-415 (10:00~18:00)

https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/

窓口 神奈川県民ホール (10:00~18:00)
KAAT神奈川芸術劇場 (10:00~18:00)
神奈川県立音楽堂 (13:00~17:00/月休)



Ticket Info

チケット及び
お問合せ 新オルガンプロジェクト光・風・音 事務局(担当:寺田)
TEL 090-2635-4281 FAX 0466-45-6018



書/アートディレクション
矢部 澄翔
Calligraphy / Art direction
Chosho Yabe

幼少より顔真卿の書を学ぶ。2009年書の本場中国で開催された第1回顔真卿生誕1300年記念展で最高賞の「西安碑林博物館長賞」受賞、2018年埼玉県より長年の文化活動を評価され「特別功労賞」を受賞するなど受賞歴多数。2006年に世界遺産の街スペインサラマンカの劇場でステージを披露して以来、席上揮毫と呼ばれる書のデモンストレーションを舞台芸術に昇華させ、書道パフォーマンスのバイオニアとして世界16カ国で書の舞台公演を展開。伝統×革新をテーマにこれまで国内外でのべ10万人に披露、澄翔の気迫迫るオリエンタルスタイルのライブ書道は世界中で感動を生んできた。2020年春「書家のためのオンラインマーケティングスクール(COMS)」を設立。若手書家の育成を目指し、書家プロデューサーとしても始動。題字やロゴデザインも多数手掛けグローバルに活動。日本デザイン書道作家協会 参与/真墨書道会 代表/東京書作展 審査委員/日本教育書道芸術院 評議員



神奈川県民ホール

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1
☎045-662-5901(代表) FAX045-641-3184
http://www.kanagawa-kenminhall.com

- みなとみらい線=渋谷駅から東横線直通で35分 横浜駅から6分
- 日本大通り駅から徒歩約8分 元町中華街駅から徒歩約12分
- JR=関内駅または石川町から徒歩15分
- 市営地下鉄=関内駅から徒歩15分
- 市営バス=芸術劇場-NHK前下車徒歩2分
- 横浜駅東口/バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約25分)
- 桜木町/バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約10分)
- ※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場-NHK前」を通ります。但し、148系統急行線を除く。
- 県民ホール有料駐車場(84台)もご利用下さい。
- 指定管理者: (公財)神奈川芸術文化財団

ご来場の皆さまへ

新型コロナウイルス
感染症対策に
ご協力ください

- 館内では原則としてマスクの着用をお願いいたします。
- 体調がすぐれないお客様、37.5度以上の発熱や咳などの症状がある場合は、ご来場をお控えください。
- お座席は一定の間隔を空けての配置となります。
- やむを得ない事情により公演が中止、変更になる場合があります。あらかじめホームページにてご確認をお願いいたします。

県民ホール
ホームページ

